

資料 1

発達障がい者支援センター 事業実施状況について

(令和6年度12月末)

資料 1-1

令和6年4月～12月発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-2

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化（令和6年4月～12月）

<相談件数（実支援人数）>

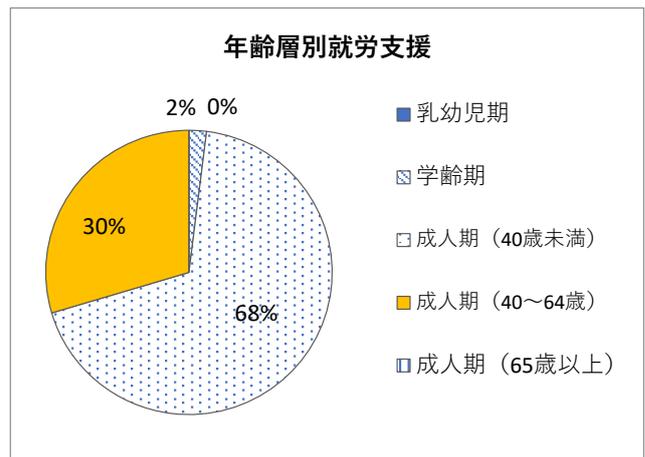
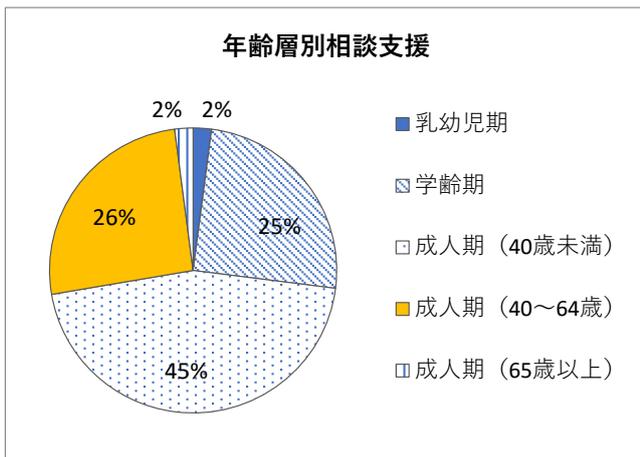
1-1 年齢別

	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	17	0	17	15	0	15	9	0	9
学齢期	152	5	157	125	6	131	109	3	112
成人期（40歳未満）	243	125	368	228	118	346	198	104	302
成人期（40～64歳）	165	52	217	153	58	211	112	45	157
成人期（65歳以上）							9	0	9
合計	577	182	759	521	182	703	437	152	589

【参考】

うち 新規件数	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	17	0	17	15	0	15	8	0	8
学齢期	131	5	136	104	6	110	85	2	87
成人期（40歳未満）	148	88	236	148	71	219	119	51	170
成人期（40～64歳）	115	27	142	103	35	138	59	21	80
成人期（65歳以上）							5	0	5
合計	411	120	531	370	112	482	276	74	350

※令和6年度からは国報告の集計方法の見直しを基に、成人期について、従来の2区分（40歳未満、40歳以上）から3区分（40歳未満、40歳以上64歳以下、65歳以上）へ変更。



1-2 診断別

	相談・発達	就労	小計
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい	162	91	253
注意欠陥多動性障がい (AD/HD)	86	47	133
学習障がい (LD)	6	2	8
発達性協調運動障がい、トゥレット症候群、吃音	6	2	8
発達障がいに加え知的障がいを伴う場合	39	12	51
その他 (未診断を含む)	212	44	256
合計	511	198	709

※令和6年度からは国報告の集計方法の見直しにより、次の内容を反映。

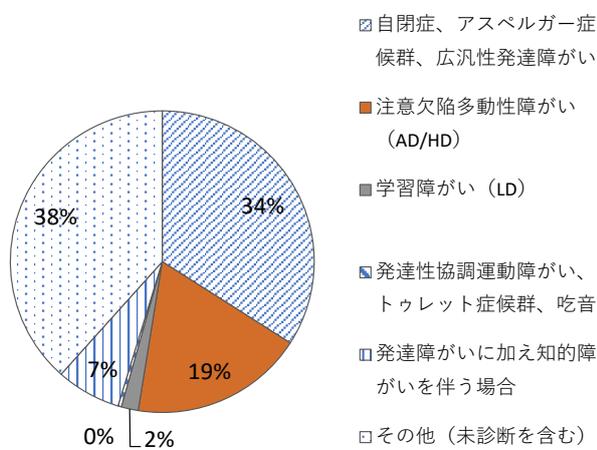
・主な診断名による集計から、医師の診断に基づき、該当する各診断名ごとの集計となったため、それに合わせた集計へ変更。

(実人数から延人数へ変更となったため、「1-1年齢別」と「1-2診断別」の合計件数は一致しない。)

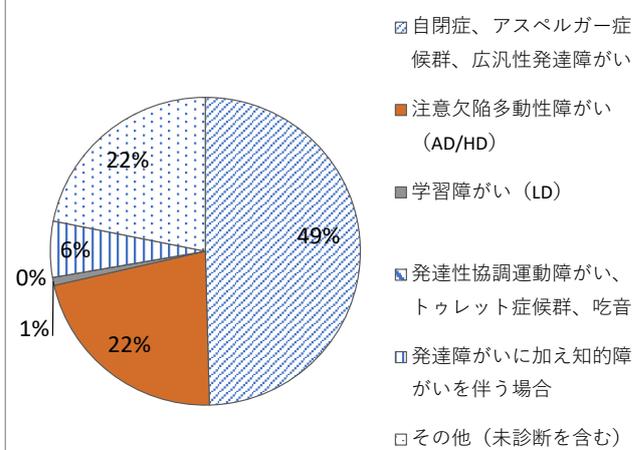
・これまで別々の事項で集計していた「自閉症」「アスペルガー症候群」「広汎性発達障がい」を1つの事項へ集約。

・「発達障がいに加え知的障がいを伴う場合」の事項が新たに設けられたため、本資料でも追加。

診断名別相談支援



診断名別就労支援



2 個別支援：調整会議 (のべ件数)

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
13	8	21

3 個別支援：機関コンサルテーション (のべ件数)

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

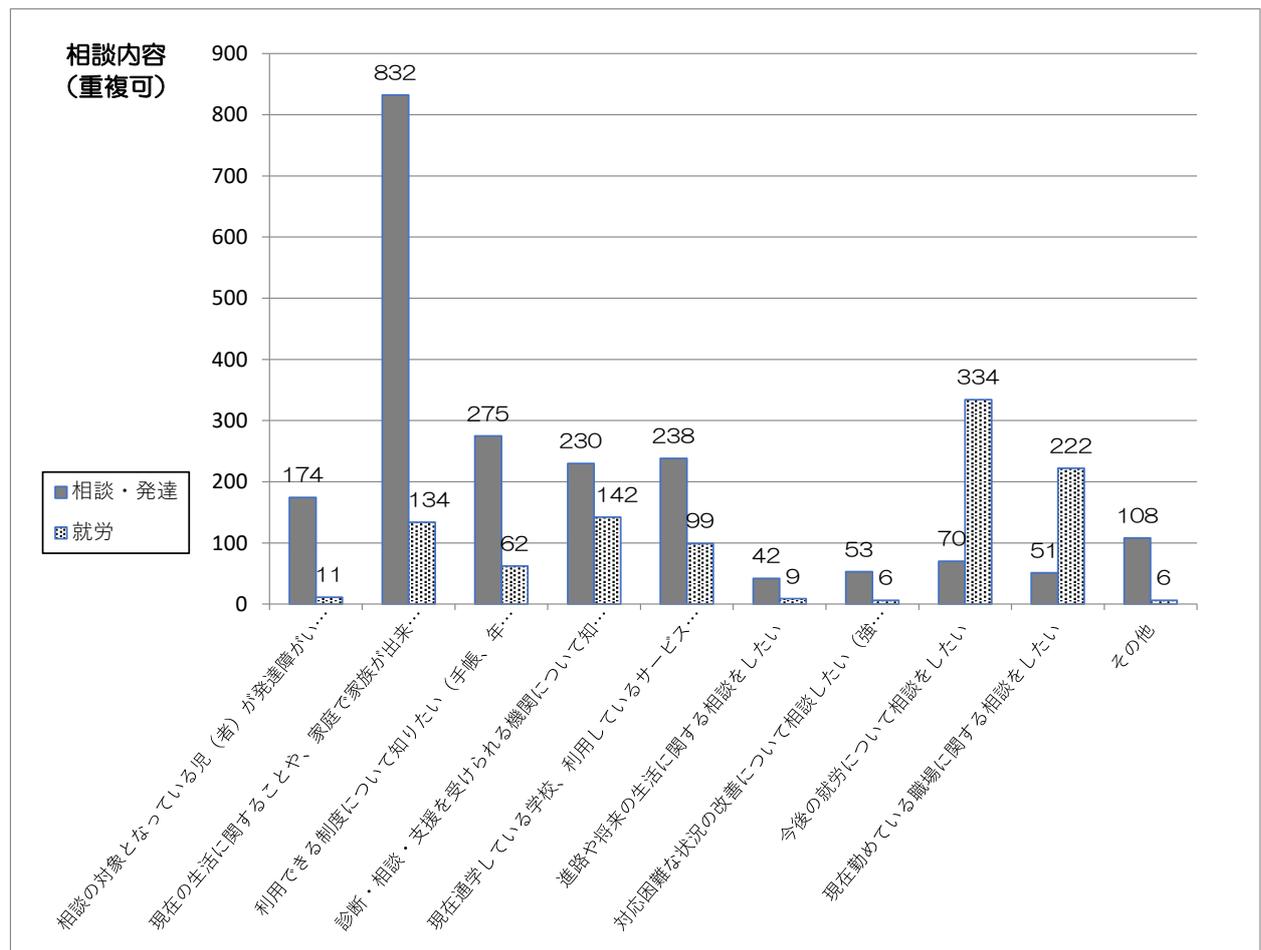
相談・発達	就労	計
5	14	19

4 相談内容（重複選択可）

	相談・発達		就労		小計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	174	8.4%	11	1.1%	185	6.0%
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	832	40.1%	134	13.1%	966	31.2%
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	275	13.3%	62	6.0%	337	10.9%
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	230	11.1%	142	13.9%	372	12.0%
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	238	11.5%	99	9.7%	337	10.9%
進路や将来の生活に関する相談をしたい	42	2.0%	9	0.9%	51	1.6%
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	53	2.6%	6	0.6%	59	1.9%
今後の就労について相談をしたい	70	3.4%	334	32.6%	404	13.0%
現在勤めている職場に関する相談をしたい	51	2.5%	222	21.7%	273	8.8%
その他	108	5.2%	6	0.6%	114	3.7%
合計	2,073		1,025		3,098	

【参考】

	令和4年度			令和5年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	227	23	250	224	13	237
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	1,033	151	1,184	968	107	1,075
利用できる制度について知りたい	354	96	450	271	94	365
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	354	129	483	218	106	324
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	274	30	304	257	59	316
進路や将来の生活に関する相談をしたい	63	16	79	45	22	67
対応困難な状況の改善について相談したい	55	3	58	35	12	47
今後の就労について相談をしたい	80	502	582	48	394	442
現在勤めている職場に関する相談をしたい	25	264	289	48	283	331
その他	288	4	292	179	7	186
合計	2,753	1,218	3,971	2,293	1,097	3,390



5 機関支援 80回実施（令和6年4月～12月） 実訪問か所 42か所

6 研修・啓発		参加総数 586名	実施回数
主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座		10
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等		102
共催講座	成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て応援講座		6
講師派遣	出前研修、啓発研修等		15
計			133

7 発達ノート発行数

令和6年4月～12月（171冊）	累計	3,426冊
------------------	----	--------

論評

・実支援人数は589名で、成人期79.5%、学齢期19.0%（小学生44名、中学生24名、高校生等44名）、乳幼児期1.5%となっている。年代としては、20代が一番多く155名、次に30代が126名となっている。

・新規相談は350件（59.4%）で、前年度からの継続相談は239件（40.1%）を占めている。乳幼児期、学齢期の新規相談は95件で、家族からの相談は85件（89.5%）となっている。成人期の新規相談は255件で、本人からの相談は155件（60%）、家族からは85件（33%、父母53件、配偶者20件、兄弟8件、成人の子ども2件、義母1件、義姉1件）、関係機関からは9件（4%、企業5件、基幹相談支援センター2件、計画相談1件、HP1件）、その他6件（知人等）となっている。

・相談内容は、10年前の平成26年度と比較すると、「診断・相談・支援を受けられる機関について」（30.0%→12.0%）、「発達障がいを知りたい」（11.1%→6.0%）の相談内容が減少し、「現在の生活に関すること」（21.8%→31.2%）、「利用できる制度について」（5.7%→10.9%）、「現在通学している学校や利用しているサービスについて」（5.0%→10.9%）、「今後の就労について」（8.1%→13.0%）、「現在勤めている職場について」（2.7%→8.8%）の相談内容が増えてきている。10年程の間で、医療機関の情報提供や発達障がいかどうかの相談から、多岐に渡る相談へと変化している。

・機関支援：私立保育園からの申し込みが一番多い（45%）。

・研修・啓発：令和5年度は、親支援講座の基礎講座と支援者講座の基礎編を実施していたが、今年度は保護者と支援者が共に受講できるオンラインの基礎講座（当日配信と後日のオンデマンド配信）として年間2回実施した。実践編として、成人支援事業所スタッフと児童発達支援・放デイスタッフに分けて、どちらも対面式（含グループワーク）で行い、昨年度は2時間の講座であったが、3時間にして、より実践的な内容に変更した。ペアレント・トレーニング連続講座後のフォローアップについて、これまで各グループ最終回の約3ヶ月後にフォローアップの会を設けていたが、令和6年度からは、フォローアップ定期会として6回実施し、ペアトレ修了者が年度やグループを超えて参加できることとしたことで、参加者が増えた。

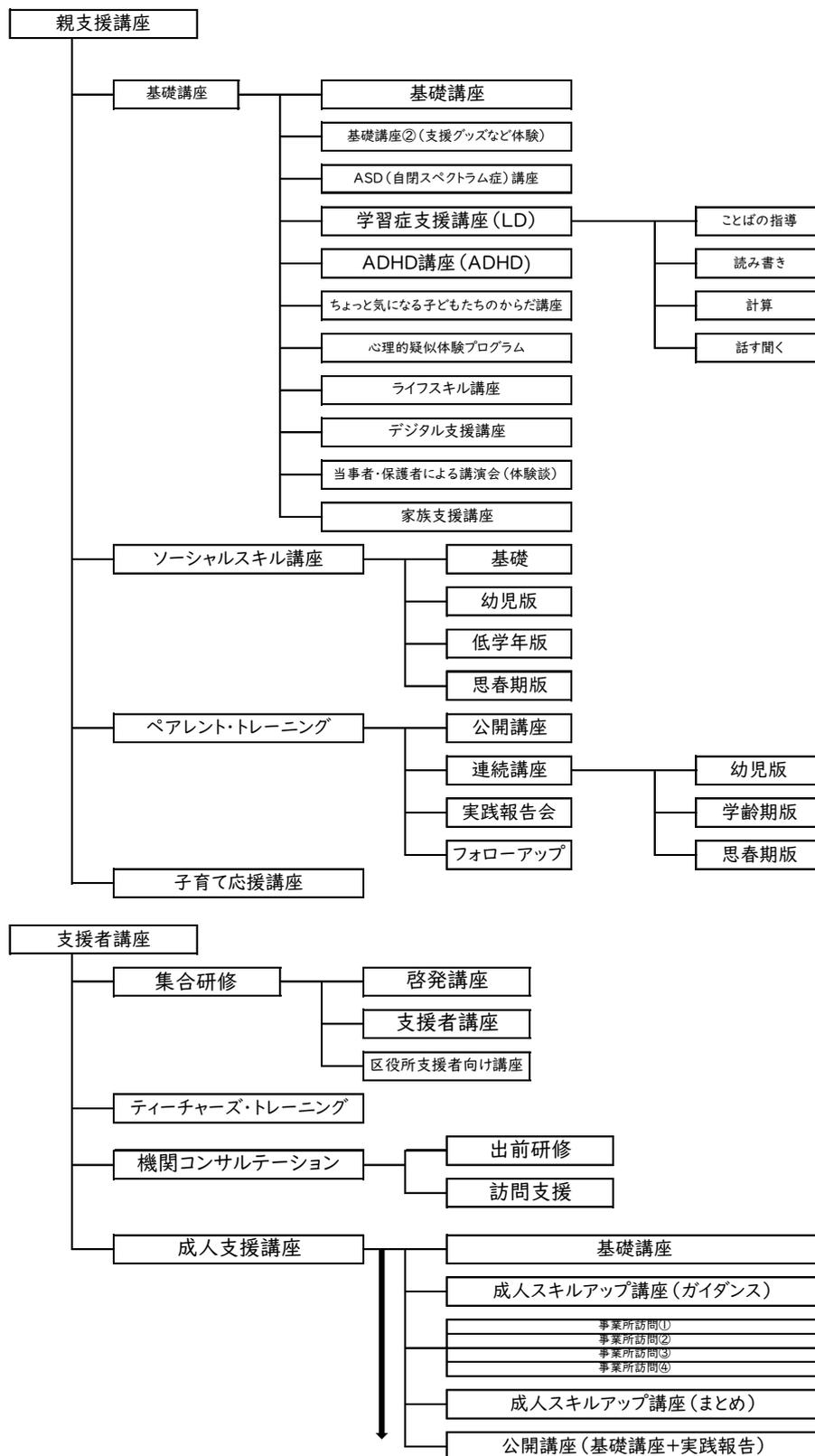
・「こころとからだのWS」は、令和5年度と同様、大阪市職業リハビリテーションセンターJC科の訓練生とコラボで実施。今年度は新たに、昭和大学附属烏山病院で開発された発達障がい専門プログラムより、「上手に頼む／断る」といった職場で必要なコミュニケーションを視覚化して学び合う方法も取り入れ実施している。

・「発達障がいのある学生等の就労準備支援事業」は、サテライト・オフィス平野（就労移行支援事業所）に協力を得て開催。大学生の相談が少ないため、既卒の方を含めて、特例子会社の見学・作業体験と、サテライト・オフィス平野でのスキルチェック（事務作業、PC操作、イラストレーター操作、職業興味検査）を実施している。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和6年4月～令和6年12月）

事業概要

2024年度 エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】基礎講座

(1) 基礎講座

発達障がい児・者の特性や、基礎的な知識と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者、支援者

講師：小田桐早苗（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科社会連携センター講師）

定員：各回100名

★実施済（2回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	6/14	WEB	34	97	131
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	11/20	WEB	14	136	150
計			48	233	281

★アンケート結果（回収率54%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	126
わかりやすかった	24
難しかった	2
かなり難しかった	2
無回答	0
計	154

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	122
参考になった	29
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	2
無回答	0
計	154

【感想・意見】

- ・とてもわかりやすく、あたたかい視点でお話して頂き良かったです。具体例も参考になりました。
- ・同じ病名でもそれぞれ症状が違うように、障がいにも個人差があることを理解しその人自身と向かい合っていく事が大切であるとわかりました。
- ・私もADHDで息子がASDで今とても苦しんでいます。先生のような話が聞ければ、ただ苦しむだけの人生ではない事がわかった。

(2) 基礎公開講座②（支援グッズなど体験）

発達障がいの特性に合わせた基本的な対応方法を考えたり、支援グッズなどを見たり触ったりする事で、お子さんとの関わりを一緒に考える。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回30名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	7/9	早川福祉会館	13	8	21

★講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	15
わかりやすかった	5
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	21

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	16
参考になった	5
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	21

【感想・意見】

- ・たくさんのグッズや本を一度に見ることができて参考になりました。
- ・学習支援時に使えるようなツールをいくつか知れて良かったです。
- ・初めて知るグッズもたくさんあり、実際に見てさわってる事が良い経験でした。子供にあうものを絞り込める事ができた。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	1/31	J E C 日本研修センター 心斎橋

（3）ASD（自閉スペクトラム症）講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化（環境調整）の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子（エルムおおさか センター長）

定員：40名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
わかりやすい環境づくり 気になる行動の考え方	9/27	ツイン21 MIDタワー	34	26	60

★アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	34
わかりやすかった	22
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	58

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	35
参考になった	20
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	58

【感想・意見】

・わが子がASDであることを理解している。でも、軽度なので普通に見えると言われる。親である私自身も支援が必要なことを忘れてしまうくらい出来るんじゃないかと思ってしまう。講座でASDについて学べたので、手助けしていくことの大切さがわかり、今後もサポートしていこうと思いました。

・自閉症の方の感じ方や困っている事を知ることができ、また、具体的な支援の仕方を教えていただけてとても有意義な時間でした。発達障がいとは脳の機能の障がいだということは知っていましたが具体的に丁寧に説明していただけたので、自閉症の方のとり行動へのつながりも理解できました。

・職場での療育は、個別ではなく集団でのスケジュールを組んで視覚支援しているので、理解が難しい子どもには絵を見せながら具体的な言葉で伝えてみようと思いました。

(4) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す(LD)

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回50名

★実施済（4回・実施予定1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
読み書きの力を育てる ～高学年での課題と学習支援～	5/22	ドーンセンター	13	39	52
聞く力・話す力の 理解と指導へのヒント	6/19	大阪市中央公会堂	19	39	58
基礎的な読み書きの 力を育てる	9/18	ドーンセンター	13	15	28
豊かなことばを 育むために	10/9	大阪産業創造館	7	30	37
計			52	123	175

★アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	118
わかりやすかった	45
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
計	168

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	132
参考になった	35
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	168

【感想・意見】

・今まさに悩んでいる問題についての話を聞かせていただき、本当に有難かったです。濃厚で貴重な話が聞けた。

・学習障害への理解を求めるとのヒントが得られました。親の対応（自分の対応）が悪かった所も知ることが出来たので、自分（親）が勉強する教材も知れて助かりました。

・子ども1人ひとりの特性を見極めて、対応する必要性。それを判断するチェックポイントを知れたのは参考になりました。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
算数でつまずく子どもの 理解と指導へのヒント	2/19	大阪私学会館

(5) ADHD講座 (ADHD)

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて講義を受け、学習する。

対象：保護者・支援者・当事者

講師：大久保 圭策先生（大久保クリニック院長、精神科医）

定員：100名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
ADHDのある方の 特徴と支援	1/19	大阪私学会館

(6) ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（作業療法士）

定員：各回40名

★実施済 (1回)

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
感覚と運動発達の視点から 身体と手先の動きを育てよう	7/12	大阪市立 社会福祉センター	7	27	34

★アンケート結果 (回収率97%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	23
わかりやすかった	9
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	33

講演内容について (役立度)	人数
大変参考になった	25
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	33

【感想・意見】

- ・赤ちゃんの頃に大切な動きがいっぱいあることを改めて理解できました。体の使い方の不器用な子がたくさんいるので、療育に組み込んで行きたいと思います。
- ・発達には順番があることが特に印象に残りました。不器用な様子が見られたら、体の使い方をじっくり見ていきたいと思いました
- ・体幹の安定がとても大事ということが分かりました。赤ちゃんの足のバタバタが歩行につながる一歩ということで意識したいと思いました。

(7) 心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持ちを体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか考えていく。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう	7/3	大阪私学会館	20	36	56

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	39
わかりやすかった	14
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	55

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	43
参考になった	11
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	55

【感想・意見】

・子どもの目線で色々で体験することができ、とても分かりやすかったです。動画では子どもの視線、視点、環境や先生の態度が、どんな気持ちになるかが分かりやすかったです。ワークショップがとても勉強になりました。貴重な体験ができました。

・とても分かりやすく楽しかったです。最近よく小言をいってしまうので、子どもに寄り添えるきっかけになりました。

・できない、わからない時の子どもの気持ちがわかったので、これからの注意の仕方、言い方を変えようと思います。

（8）ライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身につけておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

1. ライフスキル講座①（学生支援）

対象：高校生・大学生・保護者・支援者

講師：勝田 麻津子先生（同志社大学 学生支援センター コーディネーター・臨床心理士）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
学生支援 -進路選択の留意点と大学での 合理的配慮-	7/24	J E C 日本研修センター 心斎橋	24	11	35

★アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	8
わかりやすかった	25
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	34

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	10
参考になった	23
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	34

【感想・意見】

- ・大学での配慮や本人の生活について、具体的に想像できたことがとてもよかったです。今から、理解を深めていかなきゃいけない所、とにかく相談は早めに！！等々自覚することができました。
- ・大学でどのような対応をしてもらえるか、どのような流れで配慮が受けられるかなどを知ることができてよかったです。
- ・子供に障害がある事を話してなくて、大学に電話相談で親御さんが電話してこられた話が大変参考になりました。なかなか、本人に障がいの事を言えてないので。

2. ライフスキル講座②（生活）

対象：保護者・支援者

講師：金川 善衛先生（NPO法人 日本学び協会 法人理事）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
『生活の困り事への向き合い方 -原因理解と対策の立て方-』	12/10	C I V I 北梅田 研修センター	18	10	28

★アンケート結果（回収率92%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	20
わかりやすかった	2
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	2
計	26

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	18
参考になった	5
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	26

【感想・意見】

- ・親子で感情的になり、なかなか一緒に考えるということに難しさも感じていますが、何か起きた時ではなく、冷静な時に色々話し合っ対策を立てていきたいです。
- ・発達障がいをもつ高校生の息子の対応に困っており、今日の講座内容共有し、どうしていったら良いか、話し合いたいと思います。
- ・成長していく子どもに対して色々な対応、対策があるとわかって少し安心しました。

3. ライフスキル講座③（性教育）

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：道原 舞先生（わたしのための保健室 てとて代表）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
発達障がいのある子への はじめての性教育	2/14	大阪市立 社会福祉センター

（9）デジタル支援講座

学校内でのデジ教科書やタブレット活用法などについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：安田 加弥指導主事（大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進担当）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
自立活動の指導に 生かすICT活用	1/23	J E C 日本研修センター 心齋橋

（10）当事者による講演会（体験談等）

発達障がいの当事者による体験談などを交えた講演会。

対象：当事者・保護者・支援者

講師：Mr. Numberさん（元、サテライトオフィス平野の利用者）

講師：久野 政一さん（サテライトオフィス平野）

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
人がいてこそ仕事が現れる	2/8	大阪私学会館

（11）家族支援講座

きょうだいが抱えやすい悩みや、きょうだい会での実践について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
発達障がいのある子と 家族の関わり方	10/14	C I V I 研修センター 新大阪東	57	24	81

★アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	62
わかりやすかった	10
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
計	77

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	65
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	5
計	77

【感想・意見】

- ・これまで感じていた不安な気持ちがやわらぎました。支援学級やデイサービスなどで支援を受けていますが、子どものこの先の長い人生を見通す中で、家族がどのようなスタンスでいけばいいのかが学べました。
- ・いつもズバツと言ってくさるので、とても自分の中に入ってきます。分かっているのにそれでも口を出してしまう自分を改めて軌道修正してもらえたと思います。焦りそうになることが多い日々ですが、先生の今日のお話を心に留めながらひとつひとつゆっくり積み重ねていきたいです。
- ・世の中の矛盾を感じながらお話を聞いておりました。日本の学校教育が全ての子供たちのためにあるべき姿になるといいなと思いました。ベースにある安全、安心が学校にあるのか、家庭にあるのか、なければ、それをどうして保証してあげればいいのか、まずできることからやっていきたいと思ひます。期待をゼロに・・・やってみます。先生のお話は楽しく、あつという間でした。

【2】 ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばいいのか、日々の取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施済（幼児期、学齢期 基礎1回 ・ 各2回×1クールずつ）実施予定（思春期 1回）

区分	内容	日程	会場	参加者数		
				保護者	支援者	計
幼児期 低学年	幼児期・低学年で身に付けたい ソーシャルスキルについて (基礎)	11/13	大阪私学会館	27	31	58
学齢期 (低学年)	小学校（低学年）で身に付けたい ソーシャルスキルについて	11/27・12/4	リファレンス大阪	35	30	65
幼児期	幼児期で身に付けたい ソーシャルスキルについて	11/28・12/5	リファレンス大阪	18	23	41
計				80	84	164

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	133
わかりやすかった	27
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	162

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	133
参考になった	28
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	162

【感想・意見】

- ・親として子供のできない所を着目しがちであります。できる所を伸ばすように支援していくように務めなければいけないと思いました。子どもが何に困っているのかをわかるようにしたいです。
- ・私の子どもは言語理解が高すぎて、しょっちゅうイライラさせられてます（実は今朝も）今日の先生のお話の中で「8年しか生きていない子どもなんだ」という言葉をきいて、私の中でスッキリした感じです。（きっとまたイライラしてしまうと思ひますが）この話を思い出しながら、向き合っていきたいと思ひます。
- ・具体的に年齢に合った内容を教えていただき嬉しかったです。私自身が「子どもの発達にもっともっとういていかないと」と思ひました。私をもっと勉強をして子どもへの観察力を磨こうと思ひます。

★実施予定（1回）

区分	内容	日程	会場
思春期	ソーシャルスキルとしての自己理解をどう育てるか	1/29	ツイン21 MIDタワー

【3】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

（1）ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（2回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
6/11	大阪府社会福祉会館	40	26	66
8/22	WEB（オンデマンド）	27	37	64
計		67	63	130

★アンケート結果（回収率79%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	62
わかりやすかった	38
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	2
計	103

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	65
参考になった	34
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	103

【感想・意見】

・具体的な話も織り交ぜながら話してくださり、大変分かりやすく、家ですぐ実践したいと思える内容をたくさん学ぶことができました。

・初めてペアトレを受けましたが、まさにわが子のことを話されているようで、すごく興味深かったです。私自身、ペアトレ講座を受講し、学びたいと思いました。

・ペアレント・トレーニングとはどういったものなのか、今まで言葉しか知らなかったもので、とても勉強になった。園でもにたようなことはしているが一環として同じ対応であったり、知識不足なため、あまり効果が出ていないこともある。もっと学びたいと思った。

（2）ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：今村 佐智子先生、石本 真佐子先生、地域サポートコーチ

定員：8名

★実施中・実施予定（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール 9回×1クール 計89回）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	5/9～7/18	港区民センター	9		9
	9/10～11/19	東淀川区民会館	5		5
	9/19～11/21	ドーンセンター	6	1	7
	1/8～3/19	たかつガーデン	4		4
	1/10～3/21	東成区民センター	5		5
学齢	5/15～10/23	天王寺区民センター	5	1	6
	5/21～10/22	大阪産業創造館	5	1	6
	8/30～1/17	城東区民センター	5		5
	10/15～3/11	福島区民センター	7		7
	10/17～3/13	港区民センター	4		4
思春期	10/15～3/11	たかつガーデン	6		6

(3) ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：100名

★実施予定（1回）

日程	会場
3/4	東成区民センター

(4) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。

1. 2023年度実施済の講座のフォローアップ

★実施済（5回）

対象	日程	参加者数
幼児	6/3	6
学齢	5/30	4
	6/5	5
	6/24	5
	7/11	1
計		21

2. 2024年度のフォローアップの定期会

2024年度から年に6回（春3回・秋3回）でフォローアップの定期会を開催する。

★実施済（6回）

対象	日程	参加者数
幼児・学齢	6/21	8
	6/26	15
	7/1	10
	12/2	14
	12/3	19
	12/12	9
計		75

【4】子育て応援講座（クレオ大阪子育て館との共催）

発達ゆっくりさんの子育て応援講座

子どもの行動について学び、ワークを通して対応の工夫や保護者自身が肯定的なとらえ方を身につけることで、子どもとの良い関係づくりを目的で開催する。

対象：テーマに関心のある2～5歳の保護者

講師：望月 直人先生（大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター相談支援部門 准教授）

定員：15名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
子どもの行動を見てみよう	6/10	クレオ大阪子育て館	11
育てにくいも楽しむ子育て	6/17		11

※アンケートは2回目のみ実施

★発達ゆっくりさんの子育て応援講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	7
わかりやすかった	4
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	11

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	7
参考になった	4
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	11

【感想・意見】

・文字におこすと子供も私もしっかり頑張れていることがわかった。普段の関りで良い、何も特別なことは必要ないと感じることができました。

・ほめることの大事さを感じました。自分をねぎらう事を忘れずにと行って下さった先生の言葉が心にひびきました。

・「ほめるチャンスが増える」子どものいいところ探しのワークは、より具体的に考えて書き出すことができました。「うちの子は普通の子よりできなくて当たり前・・・！！」と勝手に思い込んでいたので、当たり前前にできているところ（良いところ）がたくさんあり、成長していたんだなと感じました。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
子どもの行動を見てみよう	1/25	クレオ大阪子育て館
育てにくいも楽しむ子育て	2/2	

※アンケートは2回目のみ実施予定

支援者講座

【1】集合研修

（1）啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済（11回）

対象	内容	会場	日程	参加者数
市職員（区役所関係）	大阪市こころの健康センター（保健師）	都島区	7/30	48
	母子保健従事者研修会	浪速区	12/2	50
	住吉区保健福祉課	住吉区	12/17	9
当事者・保護者・団体等	職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科	平野区	4/16	5
	平野区放デイの会	平野区	6/28	30
	雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座①	中央区	7/9	50
	大阪市更生療育センター にこにこ倶楽部	平野区	9/9	20
	住之江区人権啓発推進	住之江区	9/29	28
	東淀川区自立支援協議会・子ども部会	東淀川区	10/11	23
	天王寺区保健福祉課	天王寺区	11/11	81
	雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座②	中央区	11/12	47

(2) 支援者講座

1. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：村中 直人先生（一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 代表理事）

定員：40名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 （実践編）	12/3	J E C 日本研修センター 心斎橋	15

★アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	12
わかりやすかった	2
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	15

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	13
参考になった	1
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	15

【感想・意見】

・グループワークでは自分の思い以外の方の意見も知ることができるので、良い機会になった。仮説を沢山たてるということ、この1年で職場での私の目標にしていたので、今後も沢山仮説を立てた上で、子どもに対する支援を考えていきたいと思った。

・普段からケース検討を重ねてそれぞれの仮説を立てて、必要な手立てを立てています。今後も必要で大切なことだと感じました。これからも目の前の1人を思い、理解し支援をしたいと思いました。

・質疑応答と演習がメインでとてもよかったです。

2. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：譲田 和芳先生（bonワークス豊中 管理者・サービス管理責任者）

定員：40名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 （実践編）	8/1	JEC日本研修センター 心斎橋	23

★アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	15
わかりやすかった	5
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	22

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	16
参考になった	5
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	22

【感想・意見】

・利用者に対して一方向の視点で観るようになっていました。もっと柔軟な視点で利用者を観れるように努力したいと思います。

・実技的なワークがあり、よかったです。また、個別支援計画書の書き方を他のの方が書いた物を見て学ぶことができたのが、あまりない機会でもとても勉強になりました。

・アセスメントの取り方・視点の広げ方など、気づいていても日々の忙しさで見逃してしまっていた所もあったので、明日からピックアップして1つずつ改善させていきます。

（3）区役所支援者向け講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的なかかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：大阪市更生療育センター職員

定員：30名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
大阪市更生療育センターで学ぶ 「発達障がいのある お子さんのための専門療育」	8/19	・大阪市立心身障害者 リハビリテーションセンター ・更生療育センター	28

★講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	25
わかりやすかった	3
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	28

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	25
参考になった	3
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	28

【感想・意見】

・自分の知識不足もありますが、専門療育機関、児童発達支援センター、障がい児等療育支援事業のちがいがよくわかりませんでした。実際の事例など具体的に教えていただくと有難いなと思いました。ですが、自分の知らないことを知ることができたので、今後、学びを深めたいと思います。実際に施設の見学までさせて頂き、貴重な機会をありがとうございました。また、このような研修があればぜひ参加させていただきたいです。

・制度のことがよく理解できました。実際、どのようなお部屋で、どんな活動をどんなものを使用してされているか分かり、保護者に提案するとき具体的に伝えることができようになり、良かったです。

・親子通園のない療育の見学に行ったことはありますが、1つ1つ遊びの意味などを確認する時間もなく、分かっていなかったことも多かったため、今回の見学で「なぜこれを取り入れているのか」等自分で考えるきっかけにもなりました。イメージができてとても有意義でした。

【2】ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特徴のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済（6回×2クール 計12回）

期間	会場	参加者数
6/12～11/13	たかつガーデン	8
7/25～12/19	たかつガーデン	8

【3】機関コンサルテーション

(1) 出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済（4回）

対象	内容	日程	参加者数
保育所・園	発達障がい基礎講座	8/21	24
	発達障がい基礎講座	12/6	17
成人期支援機関	発達障がい基礎講座	9/19	16
	発達障がい基礎講座	10/7	15
計			72

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済（延べ80回・42か所）

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	42	19
障がい児通所・入所施設	4	4
教育関係機関		
成人期支援機関	21	6
障がい児・者相談支援機関	2	2
居宅介護事業所		
社会福祉協議会		
区役所（保健福祉含む）		
労働関係機関		
その他	11	11
計	80	42

【4】成人支援講座

(1) 成人期支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表しもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

<実施事業所の募集と選定>

②ガイダンス

↓ 機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。
2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

↓ 各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症eサービス全国ネット 代表）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 家族等	支援者	計
強度行動障がいに対する 中核的人材の役割	5/24	J E C 日本研修センター 心斎橋	4	97	101

★アンケート結果（回収率91%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	56
わかりやすかった	34
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	92

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	58
参考になった	33
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	92

【感想・意見】

- ・誰目線で支援を行うのか、知らず知らずに家族や支援者の都合や思い込みになっていることが、当事者の困り事になっていることに改めて気付きました。
- ・問題行動に対する適切な初期対応がとても勉強になりました。
- ・冰山モデルマトリックスが大変参考になりました。全ての支援に使えると感じました。現場に落とし込むことを意識したいと思います。

②ガイダンス

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
コンサルテーションの意義等	7/4	リハビリテーションセンター 第1会議室	9

③まとめ報告会

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
取組内容の整理 支援の方向性など	1/10	リハビリテーションセンター 第1会議室

【スキルアップの実施状況】

事業所	施設種別	対象者の概要・課題点
①	就労移行	22歳男性 A S D 精神障がい者保健福祉手帳3級 気になる行動への対応・活動内容・ コミュニケーション支援の具体的助言・施設的环境調整
②	就労継続支援B型	25歳男性 自閉症 療育手帳A 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言
③	共同生活援助	34歳女性 自閉症 療育手帳A 強度行動障害の状態にある方 気になる行動への対応・施設的环境調整・視覚支援
④	就労継続支援B型	28歳男性 多動とこだわりの強さがあり 療育手帳A 気になる行動への対応・施設的环境調整
⑤	居宅介護（身体介護） サービス付き障がい者向け住宅	52歳男性 自閉症 療育手帳A 気になる行動への対応・施設的环境調整

④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット 代表）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
自閉症の理解と支援 ～現場支援におけるアセスメント～	3/16	大阪私学会館